

# 舞鶴引揚記念館令和3年度第4回企画展 新収蔵品展 記憶がつなぐ未来

舞鶴引揚記念館では、引き揚げやシベリア抑留に関する資料を収集しています。本企画展では令和2年度に新たに収蔵された26件109点の資料を紹介し、今回展示する資料は、家族にも多くは語られなかったものがほとんどです。しかし、資料の中には当時の状況が記録として整理され、貴重な情報として残されているなど、体験者の“後世へ史実を伝えたい”という強い思いが感じられます。

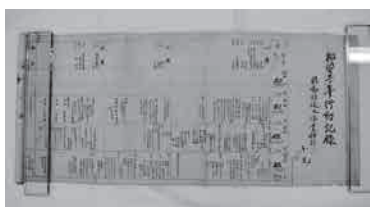
体験者の方から直接話を聞ける機会が少なくなっている現在、私たちは残された資料からその思いを読み解いていかなければなりません。展示を通して、体験者が未来に伝えたいものを広く発信する機会となれば幸いです。

## 展示資料



### 舞鶴にて帰還者たちを迎えている様子の写真

引揚援護院初代長官である斎藤惣一氏がシベリアからの帰還者たちに声をかけている様子が写されている。



### 抑留中の行動記録

昭和23年に日本に帰還するまでの間の行動記録を表にまとめたもの。抑留中、何日に誰とどんな作業をしたか、亡くなった仲間の名前などが時系列に沿って記録されている。



### 外套

抑留中に使用していた日本軍の外套。袖が取り外せるようになっている。抑留中に空腹のあまり袖と食糧を交換したケースもあるが、袖がない理由についての詳細は不明。



### 船員手帳

昭和23年9月3日から昭和24年8月25日まで引揚船「山澄丸」に操舵手として乗船していたと記録されている。

開館時間：午前9時～午後5時まで（最終入館は午後4時30分まで）

休館日：毎月第3木曜日（8月と祝日を除く）、年末年始

入館料

チケット		料金
一般	個人	400円(200円)
	団体	300円(150円)
	共通券	600円(300円)
学生	個人	150円(75円)
	団体	100円(50円)
	共通券	200円(100円)

※料金 ○ 内は身障者手帳等をご呈示の方

#### 【共通券】

舞鶴引揚記念館・赤れんが博物館にご入館いただけます。

#### 【割引制度】

身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳をお持ちの方は、受付でご呈示ください。入館料が半額になります。